東葛重心シンポジウム

大好きなこの街で暮らし続けるための重症児施設を目指そう!!

～誰もが暮らせる地域づくりを東葛で～

2011 年 1 月 15 日（土） 我孫子　けやきプラザふれあいホール

李　国本　修慈

東葛（あるいは千葉）のみなさん、こんにちは!。昨年は千葉ロッテマリーンズの優勝おめでとうございます。元野球少年の李国本修慈と申します。

兵庫県伊丹市というところ（大阪空港があるところと言えばなんとなくイメージできるでしょうか?）からやってきました（と言いつつ、この原稿は 2010 年 12 月 31 日に書いていますので変ですね）。

伊丹市は阪神間という、いわゆる大阪と神戸に挟まれた地域にあり、東は豊中（大阪府）、南に尼崎、南西に西宮、北に川西・宝塚という市に囲まれた平べったい市です。空港以外には、自衛隊だとか酒造りが盛ん（であった）な街といったところでしょうか?。伊丹市関連の著名人には、東北楽天の田中まーくんやジャイアンツの坂本選手、埼玉西武ライオンズの中島選手（は、私が在籍した高校の後輩にあたり、馴染みの鉄板焼屋さんの常連客でもあります/それがどうした?ですが）や、上村愛子選手（出身地というだけなんですが、愛ちゃんの従兄が我が法人で働いていることもあって、事業所には直筆のサインがあります/自慢）、その他、作家の田辺聖子さんや宮本輝さんも伊丹市在住ということなんです（会ったことは無いです）。

人口は 19 万 6 千人と少しという、まあ、なんとなく、例えば障害者などといわれる方々のお顔は大抵見える（解る）といった、こじんまりとした街かと思えます。

で、私の名前なんですが、少し変わった?感じかと思われるかも知れないのですが、私が在日朝鮮人（あえて南北は分けずに）であるということで、本名が「李　修慈」、通名が「国本　修慈」ということで、どっちがホンモノ?と青年期に悩んだ末に（というほど大した悩みでは無いのですが）、こんな表記としてみました（本名には名字はあるけど名前が無いんです…）。

そして、東葛地区とは、かなり深い関わりというか、私にとっても影響を与えていただいた（というか、たくさんのことを教えていただいた）皆さんがいらっしゃる地でして、1990 年代の終わり頃、今回の実行委員会のお一人でもいらっしゃる「ばおばぶ」の五十嵐さんや、津田沼の「ロンの家」のみなさん、松戸の「はなまるくらぶ」さんに市川の「オリーブの家」さん（のハンカチ、たくさん持っています）、その他たくさんの方々とお友だち（と思っているのですが）にさせていただき、ほんとにこの地が私の原点のような気持ちもしたりです（津田沼出身?の奥華子さんのファンでもあります）。

さて、というか、ようやく前置きが済んでの…ですが、私は兵庫県伊丹市という街で、いわゆる「生活支援」というようなコト（そもそもの支援という言葉もなんだかなんです

が、「地域」と入れるともっと解らなくなりそうでして）をしています。

やっているコトは、そういうことなんで、とにかく此処（ここ、あるいはこの辺り）で暮らしていこうとされる方々へのお手伝い…と言うりは、関わる方々と一緒に、せめて余計（だと思われる）な心配だとか、余分な（と思う）頑張りを強いられなくても暮らしていけるように…と、ありふれた言葉ですが、「共に」（あるいは「一緒に」の方がいいかしら?)、できれば「楽しく」過ごせれば、暮らせればと思い、色んなことをやっています。

色んなコト…と言っても、それは制度によって（切り分けられたメニュー）のいろんなコトな訳だけなんですが（そう思うとホントにやってることを「ひとつ」の言葉で表現できればいいんですが)、居宅介護事業（身体介護・家事援助・重度訪問介護・行動援護)、短期入所事業、移動支援・日中一時支援事業、相談支援事業、訪問看護ステーションなんかを「有限会社しぇあーど」で行なっていまして、もう一方の法人（法人がふたつありまして、そのあたりのことについては、また興味ある方は、お問い合わせくださいね)「NPO法人地域生活を考えよーかい」で、その他、制度に乗らないサービス等（自費による支援サービスだったり、移送サービスや地域でのイベント参加や開催、最近は調査研究なんかも）を行なっています。

まぁ、そんなところで、今回のシンポジウムは「大好きなこの街で暮らし続けるための重症児施設を目指そう!!」ということですから、そこに的を絞っていきたいのですが、私たちの法人では利用者さんの数が凡そ 170 名（毎月ご利用のある方の数で、利用登録というカタチの方を含めるとプラス 40 名ほどになります）いらっしゃり、（資料 1:しぇあーど利用者さん障害種別・程度など参照)、そのうちの多くの方が重症心身障害（あるいは超重症児・遷延性意識障害）等といわれる方々です。

で、今回のテーマ「この街で」ということについて少し記しておきたいのですが、ここのところ（この 10 年から 5 年くらい辺りでしょうか）の「地域移行」という文言に関してなんですが、なんだか「地域」という言葉が「施設（おそらく入所施設)」に対しての対比語だけで語られようとしているのであれば、そこのところは再度じっくりと考える必要があるのではないのか?と思うところです（そこらあたりは「ばおばぶ通信」＝「もうひとつの福祉 126 号」に詳しいので、ここでは多くを記しませんが…)。

私たちの取り組みなんですが、手前ミソというか、自慢げで申し訳無いのですが、「特別（あるいは特異）な取り組み」として何か重宝がられたりすることがある（ほんとに少数派の中の、しかも医療的ケアだのを必要としている＝させられている方々の行き場・所属場所が、いわゆる「地域」に乏しいが故の結果なだけなんですが…）のですが、そんな際にも私自身は、こんな取り組みが全くスピード感が無いことに憂い悲しんでいる（というか、とてつもなく悔しい思いを抱いています）訳なんです。

で、ど～しても置き去りにされがちな彼女・彼等（重症心身障害と言われる方々等）に対して、今、この現状で、何がどうあればいいのか?ということをここ数年来考え続けてきた訳なんですが…。

と、その考えた中身を記す前に、私は『とっても「施設」だとか「病院」が嫌いです』と正直に言っておきましょう。本当に今でもそのような建物の目前に立ったり、その中へ入ろうとするものなら、なんとも言えない感覚（大抵はお腹が痛くなり○○○をもよおしたりします/ホントです）に襲われます（襲われるというのは少し大袈裟かも）。

というのは、私がこんな活動を始めたきっかけというのは、かれこれ 20 年以上前になりますが、当時、何を思ったのか（を知りたい方は、また直接問い合わせてくださいね）、看護学校に通うことになったのですが、その看護学校が某市医師会による学校だったものですから必然的に（働きながら勉強するというスタイルでしたので）某市医師会に所属している医療機関で同市に在りました重症心身障害児施設に勤めることになった訳です。

それまで何も知らない（高校卒業後は「放浪者になる!」などと宣言しつつ、就職という高く厚い壁…当時は今のような就職氷河期ではなかったのですが、いかんせん『在日』ということがあったりでして…このあたりは省略/また興味ある方はお問い合わせくださいね、…しつつ、トラックの運転手などをしていましたので、福祉だとか医療だとかはほんとに別世界のようでした）私が眼にした光景を今でも鮮明に覚えている訳です。

異様な空間（今思うと児童福祉施設という括りだったからかの一人当たりの床面積）の中に多数のベットがまさに乱立していまして、全てにベット柵（と言っても介護用のそれではなくって、私たちの背より高いそれです）があり、夕方前の 15 時過ぎには、みんなが其処（その中の中?）に連れられ（運ばれ?）、夕食は 16 時頃から、17 時には日勤帯の職員さんたちが慌てて帰る中、口の中にたくさんの夕ご飯を入れて（入れられて）「もごもご」としている方々、そして、翌日の日勤帯の勤務者がいらっしゃり仕事に就く 9 時過ぎまでその「柵（檻のようにも感じました）」の中で過ごす方々…（その他、言い出せばきりがないのですが…）。

その後、こんな（はっきり言って医者や看護師、特に後者は大っ嫌いだったりで、あまり自らの職業資格を表に出すことは無いのですが）資格があるが故に、医療機関でも働いたりしたのですが、やはり其処で見たのは「生活」とは言い難い数々でして（おそらく私が働いたそれらの機関がよほど良くなかったのかと思われます。その後、ステキなお医者さんや看護師さんたちとの出会いもたくさんありましたし…）、そんなこがわたしの原点と言うか…、そう思うと私の原点は、なにがしらかの「怒り」のようなものなのかも知れません（というか、そのように思います）。

で、何が言いたいのか…?。

ここ数年来の「地域移行」という名のもとでの諸々の実体を見ていると、何より自らなんぞの重宝されまくる（ほんとに重宝されるんですね、全く中身は成っていなくても、他に無いから集中する依頼にどんどん高まる行政からの依存だとか…）法人としての実践の中にも明らかな、私自身が最も強烈・鮮明に残っている「とんでもない」と思った事態（関わり）が生じたりする訳ですから（ほんとに恥ずかしい話しですが、そんなことが「地域」だとかと息巻いている処からも生まれるのです）、一体これは何なんだ?とほんとに思う訳で

す。

たぶんそれは「地域」だとか「施設」という名称の違いで片付けられるモノではなくって…だと思う訳です。だからと言って決して特定の生活様式を強いてしまう「施設」がいいなどとは全く思えません、のですが…（失礼な言い方でしたら申し訳在りません）。

で、最近の流れを見ても「地域移行だ」等と言っていた方や、それらの意味をよく解らずして（そもそも地域移行ってなんやねん?ですが…）、それらに乗っかる方々が作る、あるグループホームだとかケアホームだとかが、まさに（と言えるように思えます）、私が見ていたような大っ嫌いな「入所施設」と同様なミニ施設化しているようなことを見聞してしまいます（こういう記し方をするから余計に対立化のようになるんでしょうね…反省）。

で、私は思う訳です。私たち、おそらく重症心身障害だとか超重症児などと言われる方々への支援の量（内容はイマイチで自信無いですが）は、全国的に見ても抜きん出た数字なのかなと思われます。

だけども、それも「施設（入所）」対「地域（それ以外）」の中で数えた数字であって、その「地域（入所施設以外の）」の中でさえ、先にも記した「全くスピード感の無い」状況ですし、全く足りていない社会資源ということに間違いは無い訳です（と思います）。

とすれば、ここ数年言い続けているのですが、「施設や病院がダイナミックに変わること（変えること）はできないのか?」ということを改めて、あえて言っておきたい（これからも言っていきたい）と思うのです。

おそらく重症心身障害といわれる方々への関わりの量や質という点では、重症心身障害児・者施設の持つ力は絶大なモノの筈です。

ですから、それを、それこそを地域では無い「入所」だとかに切り分けられないような「地域施設」への変貌はできないものなのだろうか?と思うのですが…。

もちろん、それでも私は、そういったカタチ（多数者収容的な感）にアレルギーを感じますし、それらに負けない取り組みは進めていく（と言うか、ご本人さんにとっての、と、私たちと共にの暮らしを極普通にと…と思うだけ）のですが、そんな（私たちの様な）ちんけな取り組みに負けないような、そんなカタチの「施設（私的には「大きなみんなの家」のような）を東葛に作ることはできないでしょうか?。

そんなことを今回のシンポジウムと明日まで滞在する（予定です）中で、じっくりと、多くのみなさんと共に考えていければと思っています。

そんなんで、どうぞ宜しくお願いします。と、今後とも宜しくお願いいたします。

その他、あまり必要では無いかも?の資料も幾点か付けています。いわゆる民間企業（有限会社ですから）でも、これっくらいはできるぜ!と少し示せれば（もっともっとできる筈だとか）…と、みんなでもっともっと考えれば、きっとよい街が、誰もが暮らせる（まさしく）地域が作れる筈だと信じていきたいと思っていますので…。

以下、私たちのホームページです。ぜひ、ご覧下さいね。

http://www.kangaeyo-kai.net/

しぇあーど利用者さん　障害種別・程度など

※性別・年齢区別せず、浣腸・摘便等は記載せず

1	知的・てんかん				
2	知的・てんかん				
3	神経性難病				
4	知的				
5	知的・てんかん				
6	知的・てんかん				
7	重症心身/者				
8	知的・てんかん				
9	重症心身/児				
10	重症心身/児				
11	重症心身/児	径管栄養（胃婁）	吸引		
12	知的/心疾患				
13	重症心身/児	気管切開	径管栄養（胃婁）	常時O2使用	
14	重症心身/者				
15	重症心身/児	気管切開	径管栄養（胃婁）	常時O2使用	呼吸器使用
16	知的				
17	脊髄損傷	呼吸器使用（マウスピース）			
18	重症心身/者	径管栄養（胃婁）	吸引		
19	重症心身/者				
20	重症心身/者				
21	重症心身/児	径管栄養（鼻腔）	吸引		
22	重症心身/児	気管切開	径管栄養（胃婁）	常時O2使用	呼吸器使用
23	重症心身/児				
24	重症心身/者				
25	神経性難病				
26	知的・てんかん				
27	重症心身/者	径管栄養（胃婁）	吸引		
28	神経性難病				
29	重症心身/者	径管栄養（胃婁）	気管切開		
30	知的・肝疾患				
31	重症心身/児				
32	知的				
33	神経性難病（筋ジス	呼吸器使用（BiPAP）	吸引		
34	神経性難病（筋ジス	気管切開	径管栄養（胃婁）	呼吸器使用	
35	知的				
36	重症心身/者	径管栄養（胃婁）			
37	重症心身/者				
38	重症心身/者	径管栄養（胃婁）	吸引		
39	知的				
40	重症心身/者				
41	重症心身/者				
42	脊髄損傷	膀胱婁			
43	重症心身/者				
44	重症心身/者				
45	重症心身/者	気管切開（喉頭全摘）	径管栄養（胃婁）		
46	重症心身/者	気管切開	径管栄養（胃婁）	留置膀胱カテーテル	
47	重症心身/者	気管切開	径管栄養（胃婁）	呼吸器使用（夜間のみ）	
48	神経性難病（ALS）	気管切開	径管栄養（胃婁）	呼吸器使用	留置膀胱カテーテル
49	重症心身/者	気管切開（喉頭全摘）	径管栄養（胃婁）		
50	重症心身/児	径管栄養（鼻腔）	吸引		
51	重症心身/児	気管切開	径管栄養（胃婁）	随時O2使用	
52	知的				
53	重症心身/者	径管栄養（胃婁）			
54	重症心身/者				
55	重症心身/児	気管切開	径管栄養（胃婁）	随時O2使用	
56	重症心身/者	径管栄養（胃婁）			
57	重症心身/者				
58	重症心身/者	吸引			
59	重症心身/者	径管栄養（胃婁）	吸引		
60	重症心身/児				
61	重症心身/児				
62	重症心身/児				
63	知的				
64	知的				
65	知的				
66	知的				
67	知的				
68	重症心身/者	径管栄養（胃婁）	吸引		
69	重症心身/児				
70	知的				
71	重症心身/者	気管切開	径管栄養（胃婁）	呼吸器使用（夜間のみ）	
72	知的・精神				
73	重症心身/者	吸引			
74	重症心身/者	気管切開	径管栄養（胃婁）	呼吸器使用（夜間のみ）	
75	重症心身/者	径管栄養（胃婁）	吸引		
76	重症心身/者	径管栄養（胃婁）	吸引		
77	重症心身/者	気管切開	径管栄養（胃婁）		
78	知的・てんかん				
79	知的				
80	知的				

81	知的				
82	重症心身/児				
83	重症心身/者	気管切開	径管栄養（胃婁）	呼吸器使用（夜間のみ）	
84	重症心身/者	気管切開（喉頭全摘）	径管栄養（胃婁）	常時O2使用	
85	知的				
86	知的				
87	重症心身/児				
88	重症心身/者	吸引			
89	重症心身/児				
90	重症心身/者	径管栄養（胃婁）	吸引	留置膀胱カテーテル	
91	重症心身/児	気管切開	径管栄養（胃婁）		
92	重症心身/者				
93	重症心身/児				
94	肢体不自由者				
95	重症心身/児				
96	知的				
97	知的				
98	知的				
99	知的				
100	知的/てんかん				
101	知的				
102	知的				
103	重症心身/者	気管切開	径管栄養（胃婁）		
104	重症心身/児	気管切開	径管栄養（胃婁）		
105	知的				
106	重症心身/児	吸引	径管栄養（鼻腔）		
107	重症心身/者				
108	重症心身/者				
109	脊髄損傷				
110	神経性難病	気管切開	径管栄養（胃婁）		
111	知的・てんかん				
112	重症心身/児				
113	知的・てんかん				
114	重症心身/児	気管切開	径管栄養（鼻腔）		
115	知的				
116	重症心身/者				
117	重症心身/児				
118	知的				
119	知的				
120	神経性難病（筋ジス	気管切開	径管栄養（胃婁）	呼吸器使用	
121	重症心身/児	気管切開	径管栄養（胃婁）	常時O2使用	呼吸器使用
122	重症心身/児				
123	知的				
124	知的				
125	神経性難病（筋ジス）				
126	知的				
127	神経性難病（筋ジス	気管切開	径管栄養（胃婁）	呼吸器使用（夜間のみ）	
128	重症心身/児	気管切開	径管栄養（胃婁）	常時O2使用	呼吸器使用
129	重症心身/者	径管栄養（胃婁）	吸引		
130	重症心身/児	気管切開	径管栄養（胃婁）	呼吸器使用（夜間のみ）	
131	知的				
132	重症心身/者				
133	知的	径管栄養（胃婁）			
134	知的				
135	重症心身/者	気管切開	径管栄養（胃婁）	呼吸器使用	
136	重症心身/者	気管切開	径管栄養（胃婁）		
137	重症心身/児	径管栄養（胃婁）			
138	重症心身/児	気管切開	径管栄養（胃婁）	常時O2使用	呼吸器使用
139	知的				
140	重症心身/児	気管切開	径管栄養（胃婁）	常時O2使用	呼吸器使用
141	重症心身/者				
142	重症心身/者				
143	知的				
144	重症心身/者	気管切開	径管栄養（胃婁）		
145	重症心身/児	気管切開	径管栄養（胃婁）		
146	重症心身/児				
147	重症心身/者				
148	重症心身/児	気管切開	径管栄養（胃婁）	常時O2使用	呼吸器使用
149	重症心身/児	気管切開	径管栄養（胃婁）	常時O2使用	呼吸器使用
150	重症心身/者	径管栄養（鼻腔）			
151	重症心身/児	気管切開	径管栄養（胃婁）		
152					
153	重症心身/児	気管切開	径管栄養（胃婁）	常時O2使用	呼吸器使用
154	知的				
155	重症心身/者	径管栄養（胃婁）	吸引		
156	知的				
157	重症心身/児				
158	重症心身/者	径管栄養（鼻腔）			
159	知的				
160	知的				
161	重症心身/児				

11 月売上集計表

1.サービス別集計

障害福祉サービス費	相手先	11月 売上高	前月 売上高	前月比	前年同月 売上高	前年 同月比
居宅介護等	伊丹市(282079)	4,543,786	4,620,777	▲ 76991	4,522,677	100%
	尼崎市(282020)	1,312,852	1,283,342	29510	1,170,603	112%
	西宮市(282046)	1,414,388	1,542,437	▲ 128049	1,181,157	120%
	茨木市(272112)	91,696	80,300	11396	185,218	50%
	宝塚市(282145)	27,485	6,972	20513	0	#DIV/0!
	川西市(282178)	0	0	0	30,880	0%
	猪名川町(283010)	0	0	0	0	
	居宅介護等　合計	7,390,207	7,533,828	▲ 143621	7,090,535	104%
短期入所	伊丹市(282079)	1,009,046	928,544	80502	799,169	126%
	尼崎市(282020)	35,637	16,306	19331	69,587	51%
	西宮市(282046)	16,306	35,596	▲ 19290	0	
	茨木市(272112)			0	0	
	宝塚市(282145)	80,827	51,322	29505	0	
	川西市(282178)			0	0	
	猪名川町(283010)			0	0	
	短期入所　合計	1,141,816	1,031,768	110048	868,756	131%
移動支援	伊丹市（者）移動	1,108,020	1,187,180	▲ 79160	959,340	115%
	伊丹市（児童）移動	358,140	394,650	▲ 36510	629,920	57%
	尼崎市移動	487,119	487,518	▲ 399	409,060	119%
	西宮市（者）移動	556,478	593,416	▲ 36938	407,069	137%
	西宮市（児童）移動	69,722	62,425	7297	24,774	281%
	茨木市（児童）移動	0	0	0	0	
	宝塚市（児童）移動	215,465	185,119	30346	31,336	
	川西市（児童）移動	0	0	0	0	
	猪名川町（児童）移動	0	0	0	22,464	0%
	移動支援　合計	2,794,944	2,910,308	▲ 115364	2,483,963	113%
日中一時	伊丹・日中一時（者）	20,030	19,680	350	8,060	249%
	伊丹・日中一時（児）	161,770	231,810	▲ 70040	226,910	71%
	猪名川町・日中一時	0	0	0	0	
	尼崎市・日中一時	0	0	0	9,396	
	日中一時支援　合計	181,800	251,490	▲ 69690	244,366	74%
	市町村負担額合計①	11,508,767	11,727,394	▲ 218627	10,687,620	108%
利用者負担額	郵便引き落とし分	153,974	179,165	▲ 25191	323,165	48%
	現金支払分	15,513	22,544	▲ 7031	30,682	51%
	利用者負担額合計②	169,487	201,709	▲ 32222	353,847	48%
	総合計①＋②	11,678,254	11,929,103	▲ 250849	11,041,467	106%

	相手先	発生高 11 月分	発生高 前 月分	前月比（円）	前年同月 売上高	前年 同月比
訪問看護	社会保険　支払基金	1,846,115	1,725,470	120645	1,601,390	115%
	国民健康保険	500,545	633,015	▲ 132470	644,625	78%
	小計	2,346,660	2,358,485	▲ 11825	2,246,015	104%
	利　用　者　自　己　負　担　額				0	
	社会保険(郵便)	25,630	20,220	5410	18,590	
	国民健康保険（郵便）	50,350	55,600	▲ 5250	54,800	
	国民健康保険（現金）	19,160	21,710	▲ 2550	21,530	
	小計	95,140	97,530	▲ 2390	94,920	100%
	遷延性助成	15,975	16,175	▲ 200	10,475	
	訪問看護合計	2,457,775	2,472,190	▲ 14415	2,351,410	105%

2.合計表

サービス　種別	11 月売上高	前 月売上高	前月比（円）	前年同月売上	前年比%
居宅介護・重度訪問・行動援護	7,390,207	7,533,828	▲ 143621	7,090,535	104%
短期入所	1,141,816	1,031,768	110048	868,756	131%
移動支援	2,794,944	2,910,308	▲ 115364	2,483,963	113%
日中一時支援	181,800	251,490	▲ 69690	244,366	74%
利用者負担額	169,487	201,709	▲ 32222	353,847	48%
訪問看護	2,457,775	2,472,190	▲ 14415	2,351,410	105%
	0	0	0	44,450	
総売上高	14,136,029	14,401,293	-265,264	13,437,327	105%

しえあーどスタッフ09年　年間所得表

常勤

	支給額	差引支給額	賞与額	有休消化
1	4131871	3502898	550000	6.5
2	4536893	3868671	540000	5
3	2666961	2182388	480000	3
4	3080262	2537174	520000	3
5	2252769	1580949	320000	11
6	3437910	2901494	530000	2
7	3702284	3119227	560000	1
8	4359220	3850172	560000	0
9	3400474	2906820	460000	0
10	3713314	3076311	510000	0
11	3432569	2810828	370000	4
12	4102800	3548785	610000	4

非常勤

	支給額	差引支給額	賞与額
1	815180	804040	
2	1359454	1283514	
3	381137	364628	
4	202269	196269	
5	3232334	2662755	225000
6	1858565	1819505	
7	2989553	2497712	200000
8	3028756	2489572	165000
9	1215574	1181694	
10	764407	765461	
11	441725	437901	
12	755567	730820	
13	252395	252395	
14	364862	363229	
15	225467	225467	
16	139400	139400	
17	195121	194541	
18	290667	289557	
19	1900650	1722359	120000
20	1041075	1028035	
21	869425	869025	
22	494950	486210	
23	381816	381816	
24	257867	250744	
25	1270639	1215377	
26	153100	148632	
27	335700	321177	
28	958250	921385	
29	110851	101680	
30	548308	522921	
31	110463	104451	

	支給額	差引支給額
32	850025	819008
33	68973	63997
34	165135	155357
35	101668	93708
36	78200	75952
37	257867	250744
38	1750350	1652250
39	392000	372747
40	163450	155733
41	12600	12240
42	338050	328534
43	7900	7675
44	77300	75095
45	135050	131295
46	10200	9930
47	11900	11585
48	13600	13240
49	15300	14895
50	6800	6620
51	113500	110305
52	6400	6220
53	5600	5444
54	37601	37601
55	24067	24067
56	46400	46400
57	692156	700516
58	61275	61275
59	16534	16062
60	10600	10600
61	991552	944712
62	8900	8900

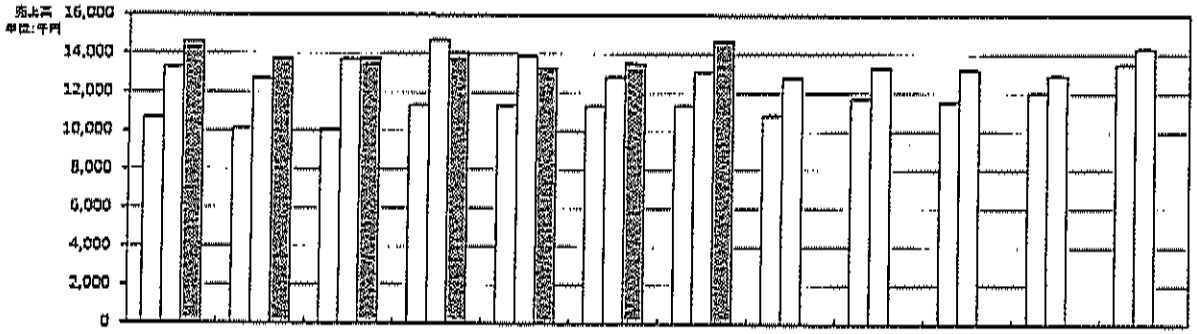
月次損益計算書兼月次売上実績グラフ

松田昭治税理士事務所

1　損益の推移および前年同月との比較表　　0181　有限会社　しょぷーど　　自 平成22年4月1日　至 平成23年3月31日　　単位　千円

科目	前期月平均 金額	構成比	4月実績	5月実績	6月実績	7月実績	8月実績	9月実績	10月実績	11月実績	12月実績	1月実績	2月実績	3月実績	当期累計 金額(A)	構成比	前年同月累計 金額(B)	構成比	A/B
売上収入 平成収入	10,873	81.2	12,002	11,309	10,972	11,593	10,746	10,787	11,914						70,304	81.3	75,797	81.5	103.4
売上収入 介護収入	2,268	16.9	2,302	2,126	2,587	2,143	2,217	2,476	2,472						16,382	16.8	15,666	16.6	104.6
売上収入 その他収入	256	1.9	286	259	242	324	293	284	258						1,905	2.0	1,749	1.9	108.9
売上収入計	13,397	100.0	14,631	13,794	13,801	14,060	13,257	13,536	14,644						97,681	100.0	94,201	100.0	103.7
前月繰越売上高	11,304	100.0	13,302	12,716	13,713	14,699	13,879	12,802	13,091	12,771	13,326	13,187	12,918	14,289	94,201	100.0	76,117	100.0	123.8
売上原価 商品仕入																			
売上原価 商品棚卸高																			
売上原価計																			
売上総利益	13,397	100.0	14,631	13,794	13,801	14,060	13,257	13,536	14,644						97,681	100.0	94,201	100.0	103.7
前月繰越売上総利益	11,304	100.0	13,302	12,716	13,713	14,699	13,879	12,802	13,091	12,771	13,326	13,187	12,918	14,289	94,201	100.0	76,117	100.0	123.8
販管費 給与・賃金	8,834	65.9	8,606	8,390	8,384	10,660	8,633	8,362	8,745						61,708	63.2	58,825	62.4	104.9
販管費 その他の人件費	1,086	8.1	874	1,394	886	796	894	1,544	428						6,814	7.0	6,966	7.4	97.8
販管費 通信・交通費	67	0.5	47	61	149	113	64	56	38						527	0.5	431	0.5	122.3
販管費 保険料	256	1.9		837	686	172	270								1,846	1.9	2,176	2.3	84.8
販管費 水道光熱費	129	1.0	103	170	83	134	275		166						932	1.0	834	0.9	111.7
販管費 消耗品費	294	2.2	395	202	217	408	1,754	508	232						3,717	3.8	1,001	1.1	332.1
販管費 その他	981	7.3	1,721	1,106	1,009	1,387	1,289	2,296	2,002						10,810	11.1	6,519	6.9	166.0
販管費計	11,647	86.9	11,746	12,102	11,293	13,669	13,179	12,763	11,611						86,352	88.4	77,346	82.1	111.6
営業利益	1,750	13.1	3,556	1,612	2,508	1,030	699	782	3,033						11,329	11.6	16,855	17.9	67.2
営業外収益計	318	2.4	161	3		4	1,060	168	622						1,301	1.3	8	0.0	######
営業外費用計	17	0.1	93	90	93		184	93							556	0.6			
経常利益	2,051	15.3	3,807	1,564	2,415	995	963	847	3,655						12,076	12.4	16,863	17.9	71.6
税引前当期純利益	948	8.4	3,122	1,437	3,187	1,302	3,142	2,062	2,561	2,243	862	3,497	3,036	▲1,221	18,863	17.9	7,478	9.8	256.5
特別収益																			
特別損失							4,878		2,126						6,798	7.0			
税引前当期純利益	2,051	15.3	2,807	1,564	2,415	995	▲3,715	847	965						5,278	5.4	16,863	17.9	31.3

2　月別売上実績グラフ



		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成22年4月1日～平成23年3月31日	前年同	10,995	10,146	10,044	11,318	11,318	11,299	11,318	10,841	11,708	11,541	12,031	13,492
平成22年4月1日～平成23年3月31日	当期	13,302	12,716	13,713	14,699	13,879	12,802	13,091	12,771	13,326	13,187	12,918	14,289
平成22年4月1日～平成23年3月31日	当期	14,631	13,794	13,801	14,060	13,257	13,536	14,644					

3　推定個別による利益の試算

単位　千円

推定売上総利益	当の場合
推定個別売上	
売上総利益	
営業利益	
経常利益	

4　損益分岐点の計算

千円／年

売上高・平均値	107,453
固定費・平均値	118,031
変動費・平均値	
固定費／売上高	88.4%
変動費／売上高	
損益分岐点	118,031

資料2　各事業職員体制

訪問看護

常勤	正看護師	2 名
	准看護師	2 名
非常勤	正看護師	4 名
	准看護師	1 名

居宅介護･移動支援事業

常勤	12 名
非常勤	34 名

サービス提供責任者	5 名

資格別

介護福祉士	11 名
訪問介護員1級	1 名
訪問介護員2級	22 名
その他	3 名
正看護師	6 名
准看護師	3 名

短期入所事業

非常勤	医師	1 名
常勤	生活支援員	4 名
非常勤	生活支援員	3 名
非常勤	調理員	2 名

事業全体

常勤	事務員	2 名
非常勤	事務員	1 名
非常勤	調理員	2 名